爬虫類・両生類飼育用ケース

HYDRA ヒュドラケースシリーズ

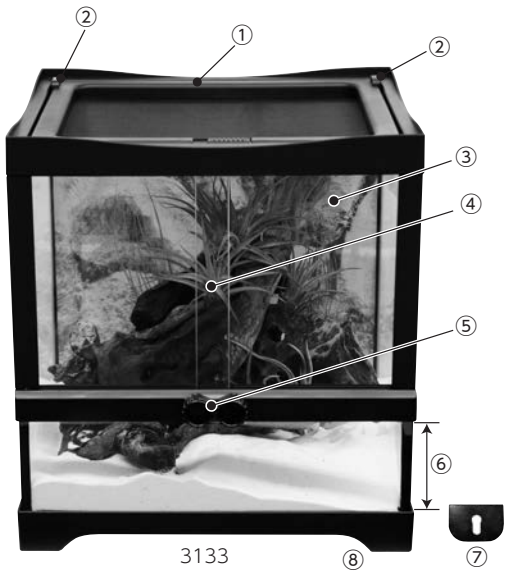
取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

◇本製品は爬虫類、両生類飼育用ケースです。この取扱説明書をよくお読みいただき安全にご使用ください。
◇本製品はガラス製です。物を当てたり、叩いたり、乱暴に扱ったりしないでください。

セット内容 ケース本体(スクリーンフレーム付)、※3Dバックスクリーン(3133のみに付属)
※ライトステー(3133、3133S、3144、3144S、4625のみに付属)

各部の名称と特長



3133

①スクリーンフレーム (開閉脱着式)
通気性の良いスクリーンメッシュ

②コード穴
電源コードやエアホースなどの設置用

③3Dバックスクリーン (3133のみ)
立体的な岩を表現

④スライドガラス(3133、3144のみ)
開閉式でお手入れ簡単

⑤スライドガラスロック (3133、3144のみ)
ロックする事で生体の脱走を防止します

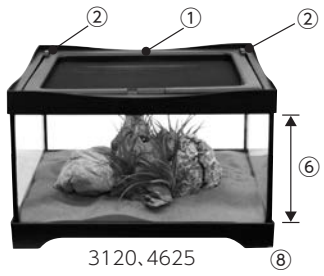
⑥水張り部
水位は必ず以下の範囲内にしてください
※3133Sは全高の1/3以下程度に抑えてください。
※3144Sは全高の1/4以下程度に抑えてください。
※4625は全高の1/2以下程度に抑えてください。

⑦ライトステー (付属機種のみ)
クリップタイプの保温器具、照明器具を
設置時に使用

⑧下部フレーム
脱着式



3133S



3120、4625

警 告 火災、感電、傷害事故などによる死亡または重傷を負う可能性が想定されるため必ず下記の警告事項をお守りください。

◇屋内の爬虫類、両生類の飼育以外の用途に絶対に使用しないでください。
◇分解や改造をしないでください。
◇電気製品を使用している場合、メンテナンス時にケースに手を入れるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電事故の原因になることがあります。
◇電気製品(オーディオ、テレビ、パソコンなど)の上や近くには、絶対に設置しないでください。
◇小さなお子様の手のとどく場所には設置しないでください。転倒などによるケガやケースの破損、火災や感電事故の原因になります。
◇水を張りヒーターを使用される場合は、ヒーターの空焚きには注意してください。火災の原因になります。

注 意 ケースの割れ、水漏れ、生体の死亡など傷害または物的損害が発生する可能性が想定されるため必ず下記の注意事項をお守りください。

◇直射日光の当たる場所での使用は、絶対にしないでください。ケースが割れる原因や部品の早期劣化につながります。
◇狭い場所や、人通りの激しい所には、設置しないでください。物が当たると、ケースのガラスが割れることがあります。また、生体も落ち着きません。
◇水や砂利、岩などレイアウト用品が入った状態では、ケースを移動させないでください。ケースが変形して水漏れが発生したり、ガラスが割れる原因になります。
◇セットしたケースは非常に重くなりますので、傾いた台や強度の弱い棚などの上には設置しないでください。
◇ケースに水を張って使用する場合は、非常に重たくなりますので、必ず水槽専用台の上に設置してください。

ご使用方法

スクリーンフレーム及びスライドガラスのロックは生体の脱走を防止するために必ず行ってください!!

□スクリーンフレームのロックと脱着

スクリーンフレームのロック



スクリーンフレームのロックを🔒マークの方へスライドするとロックできます。
ロックの解除は逆の方へスライドします。

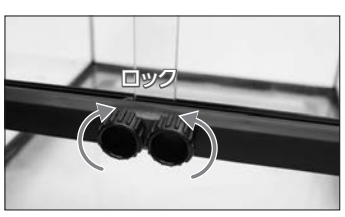
スクリーンフレームの脱着



スクリーンフレームを90度起こしてから真上に引き抜くと外れます。
取り付け方は外し方の逆の手順で取り付けてください。

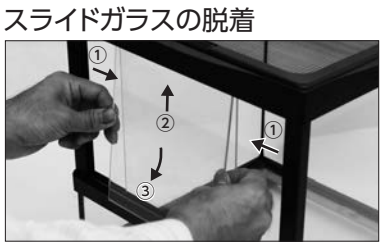
□スライドガラスのロックと脱着(適合機種のみ)

スライドガラスのロック



スライドガラスを閉じた状態で図の矢印の方向にノブを回すとスライドガラスが開かないように固定できます。
解除はロック時の反対方向にノブを回すと解除できます。
※矢印と反対方向にノブを無理に回さないでください。

スライドガラスの脱着



スライドガラスを取り外す際は、
①中央にスライドさせた上で
②1枚ずつ上方向に押し上げた後
③ガラスの下側を手前に引き抜けば外れます。

ご使用方法

□コード穴

左右のコード穴を使用しない場合は、**必ず**コード穴を**スライドカバー**で塞いだ状態にしてご使用ください。

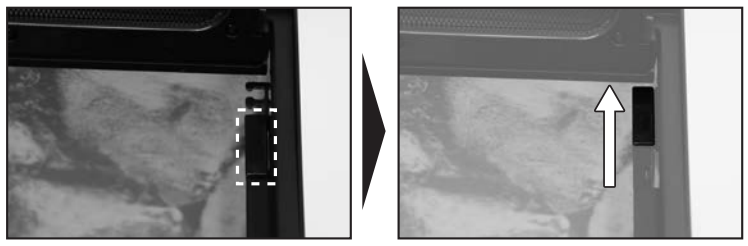
※コード穴を塞がないと**小さな生体が逃げる**恐れがあります。

電源コードとエアホース設置例



電源コードやエアホースをスクリーンフレームのコード穴から通すことができます。

コード穴の塞ぎ方



写真上の点線部分がスライドカバー

スライドカバーを矢印の方向へスライドさせると穴を塞ぐことができます。

□ライトステーのセット(付属機種のみ)

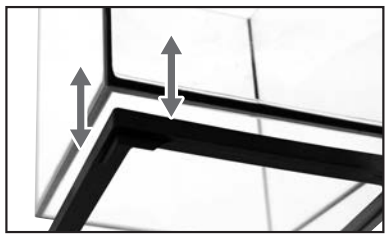
ライトステー装着時



付属のライトステーをスクリーンフレームの所定の穴どちらかに差し込めば別売のクリップ式ライトが使用できます。
その際は、ライトがケースやレイアウト素材、生体などに直接触れないように設置してください。
(3120は空間が少なくライトが設置できないため付属していません。ケースの上置き式ライトをご使用ください。又、保温が必要な場合は別途パネルヒーター等をご使用ください。)

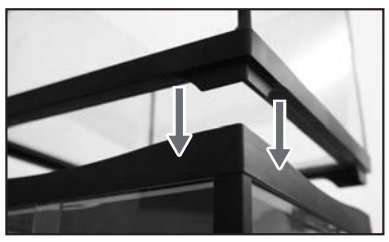
※ケース内に2箇所設置される場合は、別途ヒュドラ『ライトステー』をお買い求め下さい。

□下部フレームの脱着



ケースの下部フレームは脱着が可能です。

□ヒュドラケースの積み重ね



もう一台ヒュドラケースがあれば上下に積み重ねることが可能です。(最大2台まで)
※電源コードやエアホースを設置している場合は挟まないよう気を付けて積み重ねてください。
※上に載せるケース内には、水張りや石、流木等重い物の配置を避け生体のみにしてください。
※3144Sに水を張る際は、積み重ねないでください。

お手入れ時やその他の注意

- ケースを高いところから落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
- ケースを掃除の際は、キズが付かないよう、やわらかい布などで水かぬるま湯で行ってください。
- スクリーンフレームのメッシュ部の上から水を入れたり、霧吹きをしないでください。メッシュ部が濡れてさびの原因になります。
- ケースには、40℃以上のお湯を入れないでください。また、エアコンやストーブなどの冷暖房器具の近くには設置しないでください。シリコンの損傷やケースの変形による水漏れが発生したり、ケースが割れる原因になります。
- ケースのお手入れの際には、防水のためのシリコン塗布部をブラシなどで強くこすらないでください。シリコンの損傷による水漏れの原因になります。
- お手入れの際には、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品を使用しないでください。ケース各部の損傷の原因になります。また、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品は、本製品だけでなく、生体にも有害です。
- 一度使用されたケースを長期間保管したのちに、再度使用される場合は、必ず水漏れや損傷がないか確認を行ってからご使用ください。
- 生体によってはごく稀にケースやシリコンをかじり取り、損傷を起こす場合があります。飼育生物の特性を販売店にて十分ご相談になってから、飼育するようにしてください。
- ケースのサイズは生体の大きさに合ったものをお選びください。生体が大きくなり過ぎますと暴れた拍子にケースが破損する場合があります。

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する コトブキ工芸株式会社
〒632-0065　奈良県天理市武蔵町511番1

お客様相談窓口 ☎0743-66-2777
受付時間:土日祝を除く、月～金曜日
AM9:00～12:00　PM1:00～4:00

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。
All Right Reserved,Copyright ⓒ 2022 kotobuki kogei Co.,Ltd 170522⑥